

決算公告

第21期（2019年7月1日から2020年6月30日まで）
貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表

パスロジ株式会社

東京都千代田区神田小川町三丁目26番8

代表取締役社長 小川 秀治

貸借対照表

2020年6月30日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	259,049	流 動 負 債	217,328
現金及び預金	71,958	1年内返済予定の長期借入金	8,568
売掛金	54,439	未払金	7,068
前払費用	9,221	未払費用	22,129
預け金	123,052	未払法人税等	52,590
その他	377	未払消費税等	20,330
固 定 資 産	292,143	前受収益	106,095
有 形 固 定 資 産	6,735	その他	546
建物	5,492	固 定 負 債	36,438
土地	1,717	長期借入金	36,438
減価償却累計額	△474	負 債 合 計	253,766
無 形 固 定 資 産	84,716	(純 資 産 の 部)	
ソフトウェア	57,715	株 主 資 本	313,128
ソフトウェア仮勘定	27,001	資本金	100,000
投資その他の資産	200,692	利益剰余金	213,368
投資有価証券	168,159	利益準備金	13,498
差入保証金	6,551	その他利益剰余金	199,869
長期前払費用	1,231	繰越利益剰余金	199,869
繰延税金資産	24,749	自己株式	△240
資 産 合 計	551,193	評価・換算差額等	△15,702
		その他有価証券評価差額金	△15,702
		純 資 産 合 計	297,426
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	551,193

損 益 計 算 書

(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		426,360
売 上 原 価		74,515
売 上 総 利 益		351,845
販売費及び一般管理費		186,358
営 業 利 益		165,486
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	9,937	
そ の 他	2	9,940
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	326	
支 払 保 証 料	432	759
経 常 利 益		174,667
特 別 利 益		
固 定 資 産 受 贈 益	6,760	6,760
特 別 損 失		
投 資 有 価 証 券 売 却 損	10,467	10,467
税 引 前 当 期 純 利 益		170,960
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	64,087	
法 人 税 等 調 整 額	△3,421	60,665
当 期 純 利 益		110,294

株主資本等変動計算書
(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金		評価・換 算差額等 合計
		利益 準備金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計					
当期首残高	100,000	10,999	117,067	128,066	△240	227,826	2,432	2,432	230,258
当期変動額									
剰余金の配当		2,499	△27,491	△24,992		△24,992			△24,992
当期純利益			110,294	110,294		110,294			110,294
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）							△18,134	△18,134	△18,134
当期変動額合計	—	2,499	82,802	85,302	—	85,302	△18,134	△18,134	67,167
当期末残高	100,000	13,498	199,869	213,368	△240	313,128	△15,702	△15,702	297,426

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 其他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算出）

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15年～23年
----	---------

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

ソフトウェア（自社利用）	5年
--------------	----

ソフトウェア（市場販売目的）	3年
----------------	----

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、貸倒実績がなく、また貸倒懸念債権等もないため、当事業年度においては、貸倒引当金を計上しておりません。

(4) その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

普通株式	1,000,000株
------	------------

(2) 当事業年度の末日における自己株式の種類及び数

普通株式	300株
------	------

(3) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

2019年9月25日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	24,992千円
配当金の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	25円00銭
基準日	2019年6月30日
効力発生日	2019年9月26日

(4) 当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

2020年9月29日開催の定時株主総会において、次のとおり付議する予定であります。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	54,983千円
配当金の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	55円00銭
基準日	2020年6月30日
効力発生日	2020年9月30日

(税効果会計に関する注記)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

未払事業税	4,946 千円
未払賞与	5,995 "
未払賞与に係る社会保険料	873 "
減価償却超過額	3,446 "
資産除去債務	1,180 "
その他有価証券評価差額金	8,307 "
繰延税金資産合計	<u>24,749 千円</u>
繰延税金負債	<u>— "</u>
繰延税金負債合計	<u>— "</u>
繰延税金資産の純額	<u>24,749 千円</u>

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については、一時的な余資は短期的な預金等で運用し、一部の余剰資金について効率的な運用を図ることを目的として、投資有価証券への投資を行っております。また、資金調達については銀行等の金融機関からの借入及び新株発行による方針であります。また、デリバティブ取引に関しては行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は顧客の信用リスクに晒されております。投資有価証券は、市場価格の変動リスクに晒されております。

営業債務である未払金は、そのほとんどが3ヶ月以内の支払期日であります。借入金は、主に運転資金に必要な資金の調達を目的としたものであります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権である売掛金については、経常的に発生しており、担当者が、所定の手続に従い、債権回収の状況について定期的にモニタリングを行い、支払遅延の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

特に金額等の重要性が高い取引については、取締役会において、取引実行の決定や回収状況の報告などを行っております。

②市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に時価や発行体（取引先企業）の財務状況等を把握し、保有状況を継続的に見直しております。

③資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

未払金については月次単位での支払予定を把握するとともに、手元流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

（４）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）を参照ください。）。

当事業年度（2020年6月30日）

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金及び預金	71,958	71,958	—
(2) 売掛金	54,439	54,439	—
(3) 預け金	123,052	123,052	—
(4) 投資有価証券 その他有価証券	168,159	168,159	—
資産計	417,609	417,609	—
(1) 1年内返済予定の長期借入金	8,568	8,568	—
(2) 未払金	7,068	7,068	—
(3) 長期借入金	36,438	36,526	88
負債計	52,074	52,163	88

（注）1. 金融商品の時価の算定方法

資産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金、(3) 預け金

これらは短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

時価については、株式等は取引所の価格によっております。

負債

(1) 1年内返済予定の長期借入金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未払金

短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 長期借入金

長期借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映することから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。固定金利によるものは、元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

2. 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の貸借対照表計上額

(単位：千円)

区分	当事業年度 (2020年6月30日)
差入保証金	6,551

賃貸借物件において預託している保証金は、市場価格がなく、かつ、入居から退去までの実質的な預託期間を算定することは困難であることから、合理的なキャッシュ・フローを見積ることが極めて困難と認められるため、時価開示の対象としておりません。

(1株当たり情報に関する注記)

- 1株当たり純資産額 297円52銭
- 1株当たり当期純利益 110円33銭